

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和4年8月31日(水) 16時00分～16時45分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部  
審査グループ 研究炉等審査部門  
細野安全管理調査官、上野管理官補佐、有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、  
荒井安全審査専門職、加藤原子力規制専門員  
検査グループ 核燃料施設等監視部門  
石井主任監視指導官  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
バックエンド統括本部 バックエンド推進部 次長  
安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部 施設保安管理課 主査  
再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他9名
5. 自動文字起こし結果  
別紙のとおり  
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
6. 配付資料  
資料1 TVFにおける固化処理状況について  
資料2 東海再処理施設の廃止措置等に係る面談スケジュール（案）

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。それでは本日の面談始めさせていただきたいと思います。では早速、
0:00:08	資料に基づきまして原子力機構の方からご説明をお願いいたします。
0:00:14	はい現職モリカワです。まず資料1の方ですね、U f による固化処理状況についてということでこちらの方の説明の方させていただきます。
0:00:24	3 ページ目、まず最初に今回の予定の経緯ということで3枚ほどを整理しております。最初の3分の1 ページ目これ前回の会合等で、
0:00:35	お示ししてる資料をでして最後の五つ目の矢羽根ですね。
0:00:41	自然共感電流の増加傾向が認められたことから運転データを確認しつつ、10 本目から主電極間電力、これを 40 k W から 39 k W 落として、
0:00:53	一旦自然教官の電力の増額を抑えられたと。4 ページ目。
0:00:58	様への白金族の堆積管理指標をこちら支援強化補正抵抗等ですね、こちらの推移は、この性地殻で概ね同様に推移していたと。
0:01:09	ただし二つ目の矢羽根ですね炉底低温運転に移行する時間、こちら 17 本目辺りから 20 時間を超えるようになり、
0:01:17	また補助電極温度にも変化が見られ始めたことから炉底に白金族元素が一定程度堆積してる状況と想定したと。
0:01:28	三つ目はまた、自然共感電流も、この平尾目あたりからさらにまた増加傾向を示し、流下後のガラス温度の最低値の低下。
0:01:38	ここ温度の上昇、気相部温度の低下等をから河床層が厚くなるような兆候が確認されたことから、
0:01:46	いろいろ各部の温度調整のためにガラス原料配管の供給速度の調整、支援局間での調整等を行っていたと。
0:01:56	最後の近江四つ目の矢羽根支援強化の補正抵抗をこちらにつきましては、運転開始は徐々に低下し、0.16 億程度推移していましたが、
0:02:08	20 本目から低下傾向を示したと。
0:02:11	5 ページ目。
0:02:14	8 月の 28 日、23 本目の流下開始前の支援局補正抵抗の確認において、
0:02:22	管理仕様値 0.10 オウムです 0.1015 まで低下したことから、
0:02:29	運転に従いましてドレーンアウト操作に移行したと。
0:02:33	838 月 30 日から度レイアウトを開始し、本日度レイアウトに本目ですね流下を行っているところです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:42	介護の時は9月6日ですので9月1日までに炉内ガラス全量抜き出しを完了し、いろいろ電業ダウンとしたという形でちょっと過去形にしております。
0:02:55	三つ目はその後ガラス溶融炉の冷却期間を経て、
0:03:01	9月中旬ごろに、いろいろ内部にI T Vカメラを挿入し、業務内容を観察し、白金族元素の堆積を確認する予定と。
0:03:09	今回の運転につきましては、60本の計画に対して25本のガラス固化体を製造これにより約16立米ほどの大河内昭夫処理しております。
0:03:19	6ページ目、これ運転スケジュール実績ということで前回の以降ですね。
0:03:25	鉬石の受け入れは前回までで敬礼を今回、今週分からは中断、中止しております。
0:03:34	ガラス原料の供給につきましては68月29日の供給を停止からせよ今現在ドレーン途中でガラス類がつかまちは、
0:03:44	22本目以降ですね、どれあと操作に入っているの若干流下の時期がずれておりますので少しそこずらした形で記載、開発課隊の他ににつきましては、
0:03:56	昨日22本目まで保管しております31年ですので20本までの保管という形で今回記載しております。
0:04:04	7ページ目。
0:04:06	流行の実績になります。こちら、23本目の流下の実績まで記載22本目から23本目はドレン操作のため少し時間が長くなっておりますがここまで記載しております。
0:04:21	8ページ目以降、こちらが白金族の堆積管理指標ということでまず自然客勘の補正抵抗、
0:04:27	こちらは上に書いておりますが、過去の実績はほぼ同様な傾向を示して、0.16ホーム程度で推移しておりましたが、20本目。
0:04:37	から低下傾向を示し23番目で管理値にまで低下したというような状況です。
0:04:44	続きまして9ページ目へ、補助電極間抵抗、こちらは、
0:04:50	前回、19-1キャンペーン緑の線ですねとほぼ同様な低下傾向を示して、それを下回るような低下傾向は見られていないと。
0:05:00	ただ徐々に低下しているということから、炉底に白金状元素が一定程度堆積している状況とを想定しております。
0:05:07	10ページ目604.の移行時間、こちらにつきましては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:12	炉底低温に移行するよ車時間が 16 本目以降ですね、20 時間を超えており、
0:05:19	これは炉底部に白金族元素が堆積している兆候を示しておりますが、過去の実績を上回るような上昇傾向等を示しておらず、
0:05:27	炉底低温運転はまだ実施できているという状況です。
0:05:31	それ以外の運転のデータにつきまして 11 ページ目、11 ページ目と 12 ページ目に少し詳細なデータを示しております。
0:05:40	上に丸をつけてますのが流下の本数を示しております。
0:05:45	10、11 ページ目、これ炉の上の方の状況ということで、まずガラス温度、これはほぼ 20% 値目ぐらいまでは一定でしたけど、21 本目ぐらいから減少が見られていると。
0:06:01	その下、b ということで古門戸、これ保守電極の下辺りの温度になります。
0:06:08	こちらについては、14 ペーぐらいまではほぼ一定の範囲で維持してますが 15 本目から若干少し上にスライドしたような上昇で、
0:06:18	推移してるということで若干ここで温度の上昇が見られていると。
0:06:22	その下、d ということでガラスの最低温度、これ流下後のガラスの最低温度ということで、
0:06:30	につきましては、17 本目以降ですね、800 度を下回るような通過してまりの競合が見られているということで、
0:06:39	このような龍ヶ郷の最低温度っていうのは賀祥層が少し厚くなったことによって、こういうようなところが見られるということでそのような兆候が、17 本目ぐらいから見られてきてると。
0:06:52	その次、ということで自然局間の全中ですね、これ前回もお会合で示しましたが、まず最初から少し上昇傾向を示しておりましたが、
0:07:02	一旦電力を調整して行って落ち着いておりましたが、13 名本目から渡さ徐々に増加傾向を示しているというようなどころがあります。
0:07:13	その下、c 気相部温度、これにつきましても、
0:07:18	11 本目ぐらいまでは 300 から 400 度ぐらいの範囲で維持できておりましたが、12 本目から若干範囲が少し狭まるような 306 度から 360 ぐらいで、少し上昇上の部分ですね、上昇の温度が少し下がってきてると。
0:07:36	さらに、19 本目以降ですね炉気相部温度が 300 度を下回るような状況が確認されたと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:46	ピークで見られておりますのは米にとってますのは、温度が下がってきてますので、一旦原料供給を止めて、温度上昇を図っているということで少しピークが立ち上がってますがこれをしたとしても、
0:07:58	気相温度は 300 を下回るような兆候を確認させてということで、賀祥層が少し厚くなってる兆候ってのはこちら辺で確認されていると。
0:08:07	12 ページ目、これは野呂の下側の方の温度のプロファイルとなります。
0:08:15	まず補助電極、これ東西に一つついております。
0:08:19	通常東側の温度が高くて西側の温度が低いというような状況。
0:08:25	これがだんだんと差が縮まって、ピークのところを、青と薄い水色の線ですね、リピークがだんだんと差が縮まってきて、
0:08:35	18 本目 17 報メジャー米から本動作が逆転していると、いうことでとともに、この臼井の水色ですねこれが 19 方面はあたりから、
0:08:47	低いほうですね最低温度の辺りが上昇気味を上昇しているということで、
0:08:55	こちらにつきましては、西側の方の温度が高くなってきているということで西側の方に発見増減数の堆積が傾向が見られるんじゃないかということ。
0:09:07	あとは、青の線の一番ピークの値から 820 まで落ちてくるころですね。
0:09:14	当初はまっすぐ、下に落ちて 820 度を維持してるんですけどだんだんその、少し傾斜が緩やかになりながら 820-2 を、に到達するというこ
0:09:25	で、炉底低温運転への移行時間にも多少時間がかかってきているということで、これの解析による影響が少し見られてるんじゃないかと。
0:09:35	その下、
0:09:38	G ということで、流下ノズル温度、これは流下ノズルの上部ということでほぼ炉底部ですね、そこをノズルの辺りの温度になります。
0:09:48	こちらルートの 18 バッチ目ぐらいまではほぼ一定を維持しておりましたが、18 バッチ目以降ですね。
0:09:55	野末の緩やかな上昇が見られるということで、これノズル上部の温度が高くなってきてるってことでこれ炉底に少し白金族が堆積し、
0:10:07	電流が回り込んで温度が高くなってきてるんじゃないかというような兆候がこちらで見てとれると。
0:10:14	一番下、補助電極のその電流とあと、主ノズル間の電流、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:20	こちらにつきましては、白水の電気これ茶色の線ですね、これはほぼ一定ですが、補助電極間電流、
0:10:29	こちらのピークのところにつきましてはこれ温度調整、館さんの電流調整者で前月一旦 18 日から下がっておりますが、
0:10:39	どことこの傾向ほぼ一定で維持しておりますが、右下に点線で囲っております 16 バッチ目ぐらいから、
0:10:46	通電時間、中電の大賀減少してるということでこれ炉底低温運転で移行時間が長くなっておりますので、補助を間の通電っていう、こちらの時間が少し開始が短くなってきてると、そういうような兆候が現れていると。
0:11:04	いうことで炉底に白金族がたまってきてるんじゃないかという兆候を示しているということです。
0:11:10	これらを 13 ページ目 14 ページ目に、文章で記載しております。
0:11:16	個別に等送付しますので、割愛はしますが、炉内の温度バランスは、当初正常に他もらえたも耐えていたということで、前回の運転で確認したような、白金族の堆積の傾向っていうのは、見られていなかったということですが、
0:11:32	先ほど言いました 27 本目辺りから、補助電極温度等に変化が見られたということで、
0:11:38	赤で少し記載しておりますが、17 本目とか 10 号炉 156 本目ですねこちら辺からいろんなところで増加傾向とか上昇傾向を兆候が現れてきているというようなことが運転データから確認されております。
0:11:53	それを含めて 15 ページ目、炉内の白金族の堆積の状況ということで、
0:12:00	こういうような白金族の堆積顕著化した運転データから、
0:12:04	白金族元素の前回の運転と同様に、
0:12:08	炉底の高い位置、堆積しているものというふうに推定現在しております。
0:12:14	下に行く方位化の観点という三つの利点を示しておりますがそのような位置に堆積していると、にこういうのに加えて、
0:12:22	自然巨艦電流が運転開始初期から増加傾向を示しているということで、
0:12:28	炉の上部ですね、野呂日置等をはっきり道具、主電極間電流が回り込んでいるという可能性も否定できないため、
0:12:36	その観点を含めて今後ドライ観察を実施するというようにしております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:41	炉底の高い位置に堆積しているということにつきまして下の例で三つ書いておりますが、
0:12:47	主電極間補正抵抗管理としても炉底低温運転に移行できてるということで、炉底の高い位置に白金族が堆積し予定の低い位置まで回り込む主電極電量はそれほど多くないのではないかと。
0:12:59	二つ目として、補助電極の温度差ですね、こちらはだんだん西側が高くなってきてるってことで、炉底西側に白金族が堆積しているんじゃないかと。
0:13:09	三つ目、これ前回も同じようなちょっと少し傾向が現れたということで古門戸自然局の方1の、
0:13:17	温度ですねこちらが上昇によって気相部の温度が低下から最低温度が低下してるってことで、
0:13:24	前回と同じような兆候を最終的な兆候が見られていることで炉底傾斜面上部に白金族が堆積してるんじゃないかというようなことで、こういうところに堆積してると想定しながら、
0:13:34	炉内観察をしていきたいというふうに考えております。
0:13:37	16 ページ目以降こちらの設備の状況。
0:13:41	こちらの前回の岡井ご意向をおっきな不具合等は発生していないということで、17 ページ目に、
0:13:50	江原とか田井の取り扱い施工で④ですね、こちらの方の取り込み確認検査ですね、こちらで複数回
0:13:59	サンプリング値に有意値を確認したってことで再除染っていうのをしております。ただを最優先で行うことによって工程に遅れが生じているわけではないですが通過が起きてるってことで、
0:14:10	こちら対応としては引き続き運転員ベテランの運転員等をによりまして、作業を継続したというところでございます。
0:14:19	18 ページ目こちらの下の方の女性のところですね、綴じ込み確認検査のところについての実績を少し詳しく追加分を記載しているところでございます。
0:14:29	最後 19 ページ目、今後の経過ということですよ。
0:14:34	一つ目の予定につきましては、
0:14:36	9月1日にいろいろ電源を断とをしたということで過去形で書いてます。二つ目その後をいろいろ冷却し、
0:14:44	ＩＴＶカメラを挿入して炉内観察を行うということで大体2週間程度の冷却を行います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:52	その後、I T Vカメラを挿入するためにいろいろ上部に除く目というのが設置されておりますのでそれを取り外すというのが13日14日あたり、
0:15:01	これが終わりましたら、15日15日で炉内観察を行って、白金族元素の耐性を確認すると。
0:15:09	笑。
0:15:11	三つ目の矢羽根あれですね、今回の運転につきまして機器の不具合事象等による補充運転はほとんどなく、検討した運転パラメーターに順調に運転を進めたものの、23本目で自然許可補正で、
0:15:22	ここが白金族元素か堆積管理指標値まで低下したことを踏まえ、
0:15:26	当該観察につきましては残留ガラス除去作業、または経年変化の影響等の観点も含めて実施する予定としております。
0:15:34	炉内観察結果を踏まえまして、今回のガラス固化処理運転の継続の可否を判断するとともに、今回の規制強化補正抵抗の低下の原因に係る原因調査を進めると。
0:15:44	上記を踏まえまして、今後のガラス補修行きの運転について検討を進めたいというふうに考えております。
0:15:51	20ページ目以降の参考資料につきましては前回の会合等でお示した資料をとして基本方針、
0:15:58	あとガラスの構造図、体積のついて、あとはホールドポイントですね、関係で1で関係で示した資料を参考に、いう所でつけております。
0:16:09	ご説明の以上となります。
0:16:13	原子炉規制庁の加藤です。ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして質問コメント等ありましたらお願いします。
0:16:26	すいません加藤ですけれども、
0:16:30	19ページ目なのですが、
0:16:32	今後の計画のところ、
0:16:35	炉内観察の結果を踏まえて、継続の可否を判断するってふうになってるんですけども、これもう白金族がたまっているんだとすれば、
0:16:46	もう継続っていうのはなかなか難しいんじゃないかなと思うんですけど、
0:16:53	それは何掛け継続するっていう場合は何かこう、
0:16:56	白金族くう。
0:16:59	主電極間抵抗の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:02	改善のために何かこうやったりしている。
0:17:06	何て言うかね、
0:17:09	処理処理が何かをして、継続をするってこともあり得るってことなんですか。
0:17:15	予測モリカワ。
0:17:17	このような今の運転パラメーターを見る限りかなりはっきりと固まっているのではないかなというふうには考えておりますが今回のレイアウトをすることによって、
0:17:27	壁面部にあるガラスがある程度動いて、少し抜けたりした場合ですね、炉内観察下で、
0:17:38	主電極間から大分その白金族の堆積位置が離れてるとか、そういうような少しも改善がもし見られるのであれば、
0:17:46	運転を継続する可能性もあるかなということでもまだ完全に運転停止という判断は炉内観察を踏まえてということなので一応こういうような記載としております。
0:17:58	あれ 10 ページの方ですわかりましたありがとうございます。
0:18:13	加来亀井氏からちょっと一つ一つ確認したいことが確認というか、ちょっと確認したいことがあるんですけど。
0:18:21	今回、
0:18:25	主電極間連流、
0:18:27	が、当初からずっと、少し上がり目立ってっていうのは、途中からでも聞いてはいたんですが、
0:18:36	これもともと主電極間電力を上げてるじゃないですか。
0:18:41	それによってそもそも上がる傾向になるってことは何か想定して、ちらっと聞いたような聞かなかったような話があるんですけど。
0:18:51	それはどうなんですかねもともとそうは言い、主電極間啓発を挙げた支援局間電力を上げたとしても、
0:18:59	抵抗は、
0:19:01	電流はそこまで上がる、ここまで上がる想定ではなかったんですかねそこがちょっとよくわかんなくなってしまったんでそこだけちょっと確認させてもらおうでしょ。生まれますでしょうか。
0:19:12	はい。現職モリカワ。
0:19:13	はい今回電力を 39 から 40 kW に上げてますので、当然ス電極間電流も上がるっていうのは想定してました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:24	ただこの運転継続で徐々に上がっていきっていくところですねここが何よりものかっていうところをですねガラスの温度も上がるし、廃棄の予定等も最初のところからバッチを重ねるごとに、均等化していくのにそういう影響があって若干
0:19:44	上昇するっていうことは想定はしてはいたんですけど、今回いろいろそのトータルで見ると、それ以外の要因もあるのではないかということ踏まえて今後ちょっと炉内観察等の中で少しそこら辺についても、調べていきたいというふうに考えております。
0:20:04	はいありがとうございました。実際想定していたのはベースとして取って上がるっていうイメージだったんですね。はいそうですね、ベースとしては上がるというふうには考えてます。徐々にこう上昇していきっていくところはやはり何かほかに要因があるんじゃないかというふうに今考えております。
0:20:21	はい、ありがとうございました。
0:20:47	すいません加藤です。ちょっと関連してなんですけど
0:20:50	C、
0:20:51	就業管理電力、これ11本目から調整して0.5キロワット下げて、
0:20:59	そのあと増加傾向がなくなった。
0:21:02	ていうのが、ちょっと何か理由がいまいちなんか、なんでこれ1億円かかったのかな、中長期がなくなったのかなっていうのがちょっとよくわからないんですけど何か。
0:21:12	ちょっとそれもこれカラーなのかもしれないんですが現時点で何かなんで、
0:21:17	この調書傾向が止まったかっていう、何か考えみたいなもしあれば、教えていただきたいんですけど。
0:21:26	吉岡及川。
0:21:27	ちょっとそこはすみません、今後の調査によりますので、まだちょっと具体的に何かっていうところはここで少しちょっと明確には答えられないんですけど、一旦その電力を避け、
0:21:39	いうことで、そのガラス温度とか、他のところの温度が少し落ち着いてそれに伴って、電流値も少し下がって、
0:21:49	抑えられてるのかなあとは当初思っていたんですけど、
0:21:54	最終的にまた上がってしまったのでちょっとここの要因ですね、も含めてちょっと今後、少し調べていきたいというふうに考えております。
0:22:03	立石雪子規制庁カトウですわかりましたありがとうございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:36	すいません何度もすみませんカトウですけども、まずちょっと今回の資料、
0:22:42	からちょっと外れてしまうんですが、
0:22:45	3号溶融炉って、レベラ一層の1で、変わってないんですけど。
0:22:54	減少分が取ればその位置は変わっておりません。東側にあるという認識でいる。はい。同じ、同じ、同じレイアウトです。はい。はいわかりました。
0:23:16	規制庁植野です。
0:23:19	今回の運転は特に
0:23:24	いろいろの前前段とか後段でトラブルもなく、
0:23:28	炉のパラメーターも、ブラック野中安定した運転ができてたと。
0:23:34	思うんですけど、
0:23:40	何か何かもう、同じように受練所。
0:23:47	斜面の上部で、
0:23:49	白金ところ堆積したっていう等、また、
0:23:55	また例えばはつって運転したとなっても、また同様の事象が生じるというようなことが、
0:24:03	想定されるんですが、その辺は何か検討されてるんでしょうか。
0:24:10	はい。おっしゃられた通り今回いろいろパラメーターを調整しながら運転して行って、基本的に運転データパラメーター見る限り電力の中電極の電力上昇は多少、初期から見えておりましたけど、それが非常に
0:24:27	停止で運転しておりましたので、
0:24:30	比較的トラブルもなくうまく運転が進んでるのかなというふうに考えておりました。
0:24:36	実際炉内を観察してみないとどこに対して聞いているかっていうところはわかり、わからないんですけど今想定してる炉底傾斜面上部に、仮にあったとすると、前回と同じような位置、
0:24:49	に堆積してしまったということで、これが
0:24:53	これから打って出たとか企画等もやっていかなくちゃいけませんけど、
0:25:00	今ホールの少しずつ今後の計画等にも少しを記載させていただいておりますけど、
0:25:08	除去作業の影響とか、その経年変化、そういうものによって、こういうような状況が起きているのであれば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:18	今後2号炉発って運転したとしてもちょっと同じような状況を本日ですね、このような状況で堆積するような可能性もあるんじゃないかと。
0:25:29	いうことを含めた上で、今後のガラス化処理で通り進めていくかというところを、今後検討していく必要があるかなというふうに考えております。
0:25:52	8款から一つ。
0:25:54	ちょっと確認。
0:25:57	もう一つよろしいでしょうか。イシイからなんですけど、お願いします。
0:26:01	いいですか。
0:26:04	9ページの、
0:26:06	補助電極間補正抵抗なんですけど、
0:26:12	これ
0:26:13	以前の
0:26:16	04とか16とかのキャンペーンのときと、
0:26:24	1Qとに今回の1Qから2市と今回の例。
0:26:31	そもそものスタート位置での補正電極間抵抗がかなり違うじゃないですか。かなり違うってこれ違う、かなり違うと言っていいのかどうかちょっとあれなんですけど。
0:26:42	これって、何かこういう運転とかに影響することって、
0:26:46	或いはなしっていうのって何か考えてらっしゃったんですかJ Aさん。
0:26:51	はい。現象があるか、ここについては明確にこの、なぜこうなってるかっていうところはまだよくわからないところではあるんですけど、19-1キャンペーン。
0:27:03	頭基本的には同じ位置で推移すると。
0:27:06	ということですので、そのような低下傾向ですね、今後どんどんスタート時が低下していくっていうところは、
0:27:16	ないのかなというふうな形では考えています。何これにつきましては、除去の影響とかですね。
0:27:27	あと補助電極周りですね少しレンガのかけとかがあって、そういう少し構造上の変化ですね。によって、
0:27:37	まずこの補助間の抵抗自体が初期から最初から低く出てるんじゃないかと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:43	いうことを考えております。ただ運転を進めていくところの補助抵抗が下がってはいますけど、実際その流下ですね、流下でありますとか、予定の加熱性については、
0:28:00	大きく低下してるってということではないというふうに考えておりますので、運転に対してはそれほど、
0:28:07	影響は少ないのかなというふうな形で今回運転の方を進めて管理していたというような状況です。
0:28:20	ありがとうございました。
0:28:24	そのあたり、多分、
0:28:27	事業者さんも確認しながらやってらっしゃると思うんですが、ただちょっと、
0:28:33	すみません私がこれを最初に見たときですね。
0:28:39	最初っから前回のキャンペーンで早くやっぱり終わったキャンペーンと同じ傾向を示しているのかなという特に 21 のキャンペーン等も、ほぼ同じような傾向を最初から示してるってことを考えると、ちょっと何かやっぱり、
0:28:53	これも影響がもしかするとあるのかなと思った瞬間もあったので、とはいつ確かに他のパラメータには影響がないというのは聞いたので、そんなに影響もないのかなと思うんですけどちょっとし、
0:29:05	書記、書記とかなり違うっていうのはちょっと何かさっきも言ってたけど、
0:29:09	原岩のあたりの傷つき具合とかそういうので変わってるのかもしれないかなと思ったのでちょっとご質問した次第です。ありがとうございました。
0:29:19	はい。保健所もそう、そうですね。
0:29:21	60 本につきましてはこの黄色の線ですねちょうど旧江藤受 A と 14 本目辺りで黄色のラインですね 16 日 17 日の方で一気に下がって、下がった位置から 60 本目まで、
0:29:37	ある程度固定化しながら運転できたということなので、ある程度下がった位置でも運転継続して 60 本程度ぐらい、運転はできるんじゃないかというような見込みである程度その下がった位置だとしても、運転はできるんじゃないかと。
0:29:51	そういうような評価をした上で今回、運転ちょっとノーだということですので、他の今回の原因調査の中で少しこれについても少し何かほかかわかることがあればちょっと評価したいというふうに考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:08	はい、ありがとうございました。
0:30:21	加来市長から何かありますでしょうか。
0:30:25	原子力規制庁の荒井です。先ほどのカトウのご質問で3号炉の方で、
0:30:31	ベベル麻生の話なんかありましたけれども、でやると変わらないってことで、
0:30:35	3号炉にすると固化体の処理っていうのは多くない、多くなるな、そういった要素ってのはあるんでしょうか。
0:30:43	はい。原則も、3号炉につきましては、今この延性と四角水の溶融炉で2号炉運転してるということで
0:30:54	真四角水飯野要するに谷谷分ですね、そういう少し流動が遅くなるような場所はこういうところにはっきりと固まりやすいっていうような、
0:31:03	これまでの傾向があってそういうものに対して3号炉につきましては推計のロールするので、若干その抜き出し性等を少し改善の効果を含めて本数ですね、良い、2号よりは、本市の方が稼げる、処理できるんじゃないかというような形で今見込んでいるところでございます。
0:31:23	わかりましたありがとうございます。
0:31:42	よろしいでしょうか。
0:31:45	はい。
0:31:47	これ
0:31:49	ケースアリヨシです。
0:31:51	15ページを見ててさっきからちょっと同じ質問かもしれませんが、
0:31:59	これ、この先アライ観察をやるっていうのは曾田で、どない監査とやった後の方針っていうのは、
0:32:08	どういうふうに立てるつもりですか。
0:32:14	はい、現職茂呂。
0:32:16	炉内観察やった方が後の方針ですまず
0:32:22	この同じような位置に堆積をしてるということであれば、前回の改善も含めた、今回、
0:32:33	同じようなところに堆積しまったっていうと、今後も同じような本数ぐらいで堆積する可能性が増えてしまうんじゃないかと。
0:32:43	ということですので、2号炉でどこまで運転するのかっていうところが少し当然検討しなくちゃいけないと。
0:32:50	ここの大田井関の馬鹿別の場所ですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:55	に堆積したとすると、この影響で今回少し短い運転になってしまったというのであればその、
0:33:04	別の場所に堆積したものについて、改善ができるのであれば、
0:33:10	2号炉でももう少し運転継続できるんじゃないかと、というような評価になっていくのではないかと。
0:33:16	いうこと、あとはこれまで200本ぐらい運転しますので、残留ガラス除去でありますとか、劣化状況ですね、それぞれ踏まえた上で、
0:33:26	2号炉をどのように使っていくか、あと3号炉に前倒しですがはい。入れていくかっていうところをそういうところの検討をになるのかなというところでそういうことを踏まえてその堆積の位置ですね。
0:33:40	量とか位置等を含めた上で、今後、対応の方、検討していきたいというふうに考えております。
0:33:46	はいわかりました。ありがとうございました。
0:34:01	あ、規制庁から何か確認しておきたいこと等ありますでしょうか。
0:34:14	はい。特にないようでしたら、
0:34:17	これは来週の火曜日の会合でご説明いただくということでよろしく願いいたします。
0:34:27	はい、承知しました。
0:34:29	続きまして衛藤。
0:34:32	工程洗浄の状況についてということで、ご説明お願いします。
0:34:38	はい。それでは工程洗浄の統計ということで口頭でご説明したいと思えます。
0:34:44	当先週、工程制御かかる回収チーム会合の以降の状況でございますけれども、戦略松の溶解を行った改装の詳細線量、疑似洗浄等につきましては、先週25日木曜日の段階で終了しております。
0:34:59	現在その駅については浜出野駅磯行っているところです。また、分析所側から大瀬支店長駅のテキストを引き継ぎ実施しております。
0:35:08	確認ポイント、2-1分10等の分析結果からは、濃度が順次下がっておりまして、特に問題等はございません。このまま順調に進めば、
0:35:20	当然、予定通り来週末までには、放射線上を終了させる予定になっております。特に現状のところ問題はありませぬ。
0:35:28	報告は以上になります。
0:35:32	はい。規制庁加藤です。ご説明ありがとうございます。ちなみに順調にいくと、次の段階の低レベルのプルトニウムの溶液の移送というのはいつごろから始まる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:45	ような計画になっておりますでしょうか。
0:35:48	はい。こちらの今現在
0:35:51	メンテナンスその前の準備とか開始、という時のp i tとか等の調整を現在行っているところで、現在検討中でございますけれども、
0:36:02	年度年明け早々にできるように今現在、調整等を行っているところで、まだ検討段階というところでございます。
0:36:12	規制庁加藤です承知し、いたしましてありがとうございます。
0:36:21	ちなみに今回のよ。豊岡委員、8日
0:36:26	連絡末葉会で、ほう貯層にはどのぐらい。
0:36:31	増えたかっていうのってわかりますか。
0:36:35	衛藤。
0:36:36	先週の段階ですと約20、約20立米ほど急いで人がおります。以上です。
0:36:45	20立米ですか。はい。はい。
0:36:48	いう結構大きいね。
0:36:54	ただあれですかね
0:36:57	通常のHOWよりも大分薄いと思うんで、ガラス固化体にすると、本数本数は今の普通のHowよりかは少なくなるっていう認識でいいですか。
0:37:09	はい。かなり確井駅になります。コンサルかなりほとんどありませんので、通常のお子さんに多くなった程度ですので、小型の本数としてはそれほど多くない。
0:37:22	衛藤。
0:37:23	小松。ここだけ。
0:37:27	後、イントリウムの損益を含めましてトータルで約15分程度の上になりますので、
0:37:35	衛藤先ほど大井流ではございません。
0:37:40	加藤ですわかりましたありがとうございます。
0:37:52	他規制庁からよろしいでしょうか。
0:37:58	はい。すいませんそうしましたら工程洗浄引き続き安全第1で実施していただければ、いただければと思いますよろしくお願いします。
0:38:08	はい、了解しました。
0:38:10	はい。では続きましてちょっとスケジュールに入る前に、
0:38:16	ちょっとですね今いただてる

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:20	上の燃料の取り出し関係の廃止措置計画認可申請のところで、
0:38:26	についてですねちょっと、
0:38:29	補佐の方に電話軽くお伝えをしたんですけども、
0:38:32	今ですね、申請書を見ると、
0:38:39	使用済み燃料の搬出方法について、性能維持施設本文の6ポツの表の
0:38:46	中で、別冊に飛ばして、説明を書いているんですけども、これ、本来であれば7ポツのゆり核燃料物譲り渡しのところに、
0:38:57	書くべき内容じゃないかというふうなのがちょっと申請書を確認してて、次が出たんですが、
0:39:06	これ性能維持施設に変えているっていうのは何か理由があるのでしょうかっていうのをちょっと確認します確認したかったんですけど。
0:39:14	いかがでしょうか。
0:39:20	すいません推進室の田口です。ちょっと
0:39:24	琉大の申請書の構成ということをちょっと説明をさせていただきたいと思います。
0:39:33	従来の、これ、今までの廃止措置計画につきまして、認可の審査の考え方に
0:39:41	設備の改造を行う場合については事業指定申請書に記載してる内容や施工に今まで記載してた内容を廃措置計画に定めて、れば、
0:39:54	行ってもよいという記載があることから、
0:39:58	今後設備の改造等を行う場合の申請の仕方ということをちょっと申請書の構成について検討した際に、
0:40:07	事業指定レベルの変更については、
0:40:12	そういう設備を作る時の事業指定申請書に記載していた事項については別冊1というような形で設工認に記載してたようなものは、別冊2というような形で、
0:40:24	生成するに添付するというような構成を考えておりました。
0:40:28	そういった形で、
0:40:31	今まで事業指定レベルの申請ということで、まだ認可等はいただいておりませんが
0:40:40	T V Fの保管能力の増強であるとか、取り下げを行いました但L W T Fの改造というものについて、本文の6、
0:40:50	のところに、今日追加して、こういう申請を行うということを
0:40:56	新申請を行っておりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:59	今後もそういった申請が増えていけば、設工認の表についても本文の6のところ、今までこの申請をした40件あまりのものを一覧表としてつけておりましたので、
0:41:13	事業指定の変更についてもそういった形で履歴を表として添付していくというような立て付けとして
0:41:22	整備しております。今回の件を
0:41:28	どちらに入れるかということについてはちょっと仲村の方からご説明させていただきます。
0:41:34	前処理施設課の中野です。です。今回のSF関係の廃止措置計画につきましては、
0:41:42	すでに認可をいただいている7ポツの方には
0:41:46	注水燃料等の譲り渡しの方法に、もうすでに設備の管理とか、危ない物の譲り渡しの基本的な考えというのはすでに記載して、すでに認可を受けておりますので、今回
0:42:01	中で燃料の廃止の方を具体例的にすると。
0:42:05	時の対応としましては、中に性能維持施設の工事も含まれて来ことから、従来の先ほどお話ししました、事業指定レベルの申請事項と、手術燃料の搬出方法をにつきましては、別冊1-1として、
0:42:19	また、性能維持施設、スプレー等の工事のテストの認可
0:42:25	設工認レベルの申請事項については別冊4、ごめんなさい臭い、42として申請してございますんで、あとその件名等につきましては既設の先ほどお話ししました。
0:42:36	立て付け通り6発の項目に表に記載しているという状況でございます。
0:42:44	今回の変更の使用済み燃料の搬出方法の具体化っていうのは7ポツにすでにもう認可もらってる方向の範囲で、
0:42:57	やるっていう理解で。
0:43:00	性能維持施設の改造として、そういったことが必要かどうかという検討を、
0:43:06	結果を、その性能維持施設の位置構造及び
0:43:10	みたいなところに記載してるっていう理解なんですか。
0:43:19	はい。6.2に記載の方法という記載についてはその中を整理しております。
0:43:30	一応考え方として理解しました。ちょっとあの中で、
0:43:34	ちょっと検討させていただきたいと思います。ちょっとこの場では何とも言えないので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:40	はい。
0:43:41	すいませんありがとうございました。
0:43:45	最後ちょっとスケジュールのご説明をお願いします。
0:43:51	×推進室の石田加瀬、ページの方説明させていただくってことになるな。
0:43:58	今回プールの方を12月まで期間延ばしております。
0:44:04	本日ですねガラスの移植状況とあとこれ洗浄国等で説明させていただいております。
0:44:11	来週監視チーム会合ということで6日西方を入れております。そのあとの面談としては一応14日の日に入れさせていただいて、
0:44:21	月末にこちらの方の会合があるというふうに聞いておりますので、
0:44:26	日程はまだ未定ですので4月だけ入れておりますがそれに向けてガラスの
0:44:32	状況についてはですねこまめに情報共有させていただきながら進めていきたいということで一応14日以降は終礼で面談の方を入れさせていただければというふうに考えておりますのでよろしく願いいたします。
0:44:45	簡単ですが説明は以上です。
0:44:52	はい。ありがとうございます。衛藤。
0:44:56	承知いたしました。ちょっと時間等についてはですねまた別途連絡させていただきたいと思っておりますよろしくをお願いします。
0:45:04	はい。よろしくをお願いします。
0:45:07	何かスケジュール関係で規制庁からありますでしょうか。
0:45:16	よろしいでしょうか。
0:45:19	こちらからは以上ですけれども、
0:45:23	以上機構の方から何か連絡事項等ありますでしょうか。
0:45:32	はい。こちらからも以上になります。
0:45:35	はい。そうしましたら以上で面談、本日面談終了にしたいと思います本田どうもありがとうございました。
0:45:42	ありがとうございました。明日、ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。